

小樽商科大学

夜間主コース

紹介

本

ゼミ

ナ

ール

ル

2021

---

# 目次

研究指導履修上の注意事項.....	p.3
夜間主コース研究指導募集手続.....	p.4
夜間主コース研究指導第一次希望応募フォーム.....	p.6
<b>経済学科.....</b>	<b>p.8</b>
<b>商学科.....</b>	<b>p.9</b>
<b>企業法学科.....</b>	<b>p.10</b>
<b>社会情報学科.....</b>	<b>p.11</b>
<b>言語センター.....</b>	<b>p.12</b>
ゼミ配置図.....	p. 13

---

## 夜間主コース研究指導（ゼミナール）履修上の注意事項

教 務 課

1. **夜間主コース研究指導**は原則として**必修科目**とし、原則として自学科科目あるいは専門共通科目の研究指導を履修するものとする。
2. 3年次への進級要件を満たせなかった場合、ゼミの内定を受けたとしてもゼミに所属することができないので注意すること。
3. 研究指導の履修期間は、学期単位（前期、後期でそれぞれ1学期）で扱い、単位（8単位）を修得するためには4学期（合計2年間）を履修しなければならない（原則は3、4年次の2年間継続履修である）。
4. 研究指導は原則必修としているが、ノンゼミを志望する学生は、学科長宛に申し出るものとし、学科長において例外的措置として承認が得られた場合のみ、ノンゼミを認めることとする。ノンゼミを認められた学生は、学科科目について所定の単位の他、ゼミ相当分の8単位を、更に履修しなければならない。
5. ゼミ所属の変更は、非常に難しいので慎重に選択すること。なお、万一変更の必要が生じた場合はただちに教務課学部教務係まで申し出ること。
6. ゼミの無断欠席が続くと除名される場合があるので注意すること。
7. 募集要項中で選考の方法等が未定になっている場合には、掲示等により通知するので十分に注意すること。

## 夜間主コース 研究指導募集手続

夜間主コースの学生は、以下に従い、必要手続きを行ってください。なお、夜間主コースの学生は、昼間コースのゼミに所属することはできません。募集手続は正しく守って行動するようにしてください。

### 1. 研究指導オリエンテーション 【10月13日(火) 予定】

**時間：19時20分～19時50分**

担当教員よりゼミ内容の紹介を行います。対象学生は必ず出席してください。

### 2. 第1次志望ゼミ申込期間 【11月5日(木)～11月11日(水)】

① アンケートフォーム（WEB）より、所属を希望するゼミを、第1志望のみ登録する。（締切：11月11日(水) 20時）。

※アンケートフォームのURLは、《大学HP→学生生活・就職→お知らせ》に掲載予定です。

② 申込期間中は、各ゼミの志望状況を適宜公表する。

③ 締切日までは、希望ゼミの変更を認める。変更希望者は、アンケートフォーム登録時に送信されたメールから修正を行うか、再度アンケートフォームに登録を行うこと。（登録が一番新しいものを、最終希望とみなします。）

### 3. 第1次選考期間 【11月16日(月)～11月27日(金)】

この期間中に、第1志望の申込を行った者を対象に選考するので、対象となる者は、各教員の募集要項の指示に従って面接等を受けること。

### 4. 第1次選考結果発表及び第2次募集告知期間【11月16日(月)～12月4日(金)】

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第2次募集の有無については、掲示等で行う。

第2次募集については、アンケートフォーム（WEB）より希望ゼミを登録する必要はありません。

## 5. 第2次選考期間及び第2次選考結果発表【12月7日(火)～1月12日(火)】

この期間中に、第1次選考でゼミの内定を得られなかった学生は、各教員が指定した選考日時・場所で適宜選考を受けること。

**第2次募集については、他学科を含め複数のゼミ選考を受けることを認めている。**

この期間中に、各教員から選考結果が適宜発表される。内定者の発表、第3次募集の有無については、掲示等で行う。

なお、**複数の内定を受けた場合は、速やかに内定を辞退する教員にその旨申し出ること。**

## 6. 内定者発表【1月14日(木)】

教務課学部教務係より各ゼミの最終的な内定者を掲示する。

## 7. 最終活動期間【1月14日(金)～3月末日】

研究指導は原則として必修なので、選考期間中にゼミ所属が決定しなかった学生は内定活動を継続すること。該当者は呼び出しを受ける場合があるので、掲示には十分注意すること。

### 備考

- ノンゼミを希望する場合は、原則として**12月14日(月)まで**に所属学科の学科長あての所定の申請用紙（教務課学部教務係にて配布）により申し出、承認を受けること。  
ただし、ノンゼミは自動的に認めることではなく、例外的措置として認められる場合に限られるので注意すること。承認が得られなかった場合は、そこからゼミ所属活動をすることになるので、ノンゼミを考えている学生は、期限に関わらず早めの申請を勧める。
- 第1次選考で落選したものは、各ゼミの募集について掲示等を確認したうえで第2次選考中の教員に直接連絡をとり、選考を依頼するなど積極的に行動することを勧める。

# 令和3年度研究指導 第一次希望応募フォーム（夜間主コース）

第1志望ゼミ申込期間中【11月5日(木)～11月11日(水) 20時】に、アンケートフォームより所属を希望するゼミを登録してください。

締切：11月11日(水) 20時

アンケートフォームはmanabaコース「2021年度ゼミ選考」のアンケートに掲載予定です。

No.	タイトル	期間	公開/非公開	提出	管理
1	研究指導第一次希望応募フォーム（昼間コース）	-	非公開	0名	

## 第一次希望応募フォーム（昼間コース）

※第1志望ゼミ申込期間より前に登録することはできませんのでご注意ください。

※第一次募集では、研究指導募集手続きに違反した重複申請を避けるため、上記のアンケートフォームを利用しています。アンケートフォームに登録せずに独自に教員に申し込むことは禁止しています。

※留学等により上記のアンケートフォームからの登録が困難な場合は、必ず事前に教務課学部教務係まで連絡してください。

### 連絡先

国立大学法人小樽商科大学教務課学部教務係

電話番号：0134-27-5242

e-mail：gakubu@office.otaru-uc.ac.jp

---

# 夜間主コース

---

## Evening School

### 夜間主コース 開講ゼミナール一覧

佐野 博之（経済） .....	8
市原 啓善（商） .....	9
小倉 一志（企業法） .....	10
阿部 孝太郎（社会情報） .....	11
羽村 貴史（言語センター） ..	12

# 教員名 佐野 博之 (経済)

---

## 1. 研究主題

公共経済学。経済政策全般。

当ゼミでは、公共部門の経済活動に関する問題をミクロ経済学の組みの中で考え、分析していくことを、最終目標とします。市場経済がもたらす環境問題や所得格差の問題から大きな政府が招く財政赤字の問題といった21世紀の日本や世界が抱える問題も公共経済学の研究対象です。

## 2. 指導要領

初年度(3年次)の前半は、主にミクロ経済学の入門テキストを輪読します。また、時々時事問題を取り上げ、グループごとに話し合い、ディスカッションを行います。後半には、公共経済学もしくは経済政策全般に関わるテーマをいくつか指定し、それらに関してグループごとに研究し、その成果を発表します。現実の諸問題を、公共財、外部性、所得再分配政策など公共経済学の基本テーマに結びつけて研究することで、公共経済学の理解を深めます。4年次には、2015年に国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)における17の目標の中からいくつかをゼミ生が選びグループごとに研究して、随時プレゼンテーションを行い成果をまとめます。こうして、現実の問題に関わるテーマを深く掘り下げて研究していく予定です。公共経済学に対する理解を深めることはもちろんのこと、説得力のあるプレゼンテーションと積極的なディスカッションの能力を身につけることも目標の一つです。

## 3. 指導テキスト及び参考書

3年次前半で用いるテキストはミクロ経済学の入門テキストを想定しており、ゼミ生と話し合っ決めて決める予定です。

## 4. 選考の方法(面接・テスト等)

面接で、当ゼミへの志望理由、どんな経済問題あるいは経済理論に関心を持っているのかについて、聞かせてもらいます。基本的に集団での面接になります。テストは行いません。必ず事前に、志望理由と関心事についてまとめてきて、面接で答えられるようにしてください。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

日時: 追って、学務課の掲示板でお知らせします。

場所: 3号館3階312号室(ゼミ室)、あるいは、Zoom

問い合わせは、sano@res.otaru-uc.jpまで。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

ゼミ生数の上限は13名です。現在の社会に対して何らかの問題意識を持ち、積極的な姿勢でゼミに参加するような学生を歓迎します。

## 1. 研究主題

財務会計論

## 2. 指導要領

### (1) 研究指導Ⅲ前期 (基礎学習)

財務会計論や証券投資論等の基礎的な理論や構造を理解し、財務諸表分析、業績予想、企業価値評価手法の基礎について学習します。

### (2) 研究指導Ⅲ後期・研究指導Ⅳ (応用論点)

グループまたは個人ごとに関心のあるテーマを設定し、会計情報の収集やデータ解析を用いた調査・研究を行います。

## 3. 指導テキスト及び参考書

バルーク・レブ、フェン・グー (著)、伊藤邦雄 (監訳) (2018) 「会計の再生—21 世紀の投資家・経営者のための対話革命」 中央経済社、ISBN:978-4-502-24051-5 (Lev, B. and Gu, F., 2016, "The End of Accounting and the Path Forward for Investors and Managers", Wiley)

## 4. 選考の方法 (面接・テスト等)

面接のみ。

なお、指定する「申込用紙」に必要な事項を簡単に記入して面接時に提出ください。

※申込用紙は、右の Web-Site よりダウンロードし、A4 用紙 (両面印刷) でご利用いただくか、メール (ichihara-h@res.otaru-uc.ac.jp) でご請求ください。



## 5. 面接・テスト等の日時・場所

日 時：令和 2 年 11 月 16 日 (月) ~17 日 (火)

日時の詳細は、manaba コース「2020 年度ゼミ選考」掲示板 (予定) にて連絡

場 所：1 号館 (研究棟) 301 号室

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

(1) ゼミの雰囲気や活動内容等については Web-Site をご参照ください。ご質問・履修相談のある方は、積極的に教員までお尋ねください。【Web-Site】<http://cac-tus.wix.com/cactus>



(2) 意欲の高い学生に対して、(業種を問わず) 民間企業への“就職活動”や“ビジネスの現場”で役に立つ、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション、「企業経営者・実務家等との対談 (ただし昼間の時間帯)」等を通して、ビジネススキルの習得支援が可能です。

(3) 意欲の高い学生に対して、大学発学生ベンチャーの起業・設立支援が可能です。  
起業実績 (4 社/5 年)：株式会社 LiPLY、株式会社 AiNY、株式会社 AiLLiS、株式会社 Cac-tus

(4) 【主要内定先 (夜間主含む、大手内定率 100%)】 財務省、札幌市、三菱東京 UFJ 銀行、三井住友信託銀行、農林中央金庫、日本政策金融公庫、ゆうちょ銀行、日本電気 (NEC)、味の素、サントリー、キッコーマン、旭硝子、日本生命、第一生命、明治安田生命、損保ジャパン日本興亜、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、・・・他上場企業多数

(5) 実務経験者による授業：該当する (税務・会計実務、法人設立・経営指導、採用他)

# 教員名 小倉 一志 (企業法)

## 1. 研究主題

憲法学の基本的な論点に関する学説・判例を学修します。

## 2. 指導要領

ゼミの進め方は、開講時に学生と相談して決めますが、現在のところ次のように考えています。

- ①参加メンバーを2、3人単位でグルーピングする。各グループは与えられたテーマについて学説・判例の調査・資料収集を行い、レジュメを作成し、発表を行う。
- ②その発表を基に、質疑応答を行う。特に、発表を担当しない側のグループは積極的に質問することが求められる。当然、教員も質疑応答に参加する。

## 3. 指導テキスト及び参考書

芦部信喜(高橋和之補訂)『憲法〔第7版〕』(岩波書店・2019年)・六法は、毎週、必ず持参すること (「手ぶら」で来ても出席とは見なされないので注意すること)。それ以外のテキストを追加購入してもらおうか否かについては、開講時に学生と相談して決定します。

## 4. 選考の方法 (面接・テスト等)

「面接」および学生各自が作成した「志望理由書」などにより選考する予定です。「志望理由書」は電子メール (word形式で作成した文書ファイルをメールで添付する方式) で提出して下さい (e-mail: ogura@res.otaru-uc.ac.jp) (締切: 11月11日 (水曜日) 20時)。

「志望理由書」には、①なぜこのゼミを選択したのか、②このゼミでどのような勉強をしたいのか、③卒業論文で扱ってみたいテーマ (可能であれば、その内容も) などを書いて下さい (それ以外の内容を自由に追加して構いません)。最低1200字は書くこと。

また、④既に履修済みの法律科目・現在履修中の法律科目についても書いて下さい。

応募者の状況により、1次募集と2次募集に分けて選抜を行うこともあり得ます (1次募集で全員決定するとは限りません)。しかし、このゼミを希望される方は、1次募集の段階から応募されることを強く推奨します。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

面接の日時・場所については、追って連絡します (メールチェックを怠りなく)。 現段階では、11月18日 (水曜日) のゼミの時間帯 (6講目・7講目) を考えています。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

- ・10月13日 (火曜日) に予定されている「研究指導オリエンテーション」には、必ず出席すること。
- ・ゼミの性質上、毎回出席することが成績評価の前提となります (正当な理由のない欠席は認めません)。 その上で、ゼミにおける発言・報告内容などにより総合的に評価します。
- ・受入予定人数は10人程度を考えています。
- ・学生同士が自由かつ活発に議論できるゼミになればいいなあ、と思っています。
- ・夜間主コースのゼミですので、オープンゼミは予定しておりません。ここ暫く、連続して夜間主ゼミを担当していますので、ゼミの雰囲気を知りたい方は、先輩達に聞いてみてください。

# 教員名 阿部 孝太郎 (社会情報)

---

## 1. 研究主題

社会心理学や社会学をベースにした消費者行動論(宣伝を中心にした戦略立案)。及び、SNS を中心にしたコミュニケーション(「組織コミュニケーション論」のシラバス参照)と、IT に関連したコラボレーション(「組織情報論」のシラバス参照)に関する諸科学。

## 2. 指導要領

下記テキストで理論的知識を得ながら、実際のマーケティング活動に応用していく。ゼミの前半時間は学生によるプレゼンテーション(テキストの内容をまとめる)、後半時間はプロジェクト(ここ数年は小樽のスイーツの普及活動)の活動(ブレインストーミング・撮影等)を行うことが多い。

## 3. 指導テキスト及び参考書

- ・山本晶 『キーパーソン・マーケティング—なぜ、あの人のクチコミは影響力があるのか』(東洋経済新報社)
- ・J.パーガー 『なぜ「あれ」は流行するのか—強ちに「伝染」するクチコミはこう作る』(日本経済新聞社)

※その他、アメリカの大学の消費者行動論のテキストの抜粋や、山口周『外資系コンサルの知的生産術』(光文社新書)など。

## 4. 選考の方法(面接・テスト等)

「阿部ゼミを志望する理由」「感銘を受けた本(or 映画)」に関して、A4・二枚にまとめて(各テーマの分量バランスは応募者の都合でよい)、ゼミ室(408)か阿部研究室(533)の連絡用のボックスに提出(表紙は不要。学生番号と氏名を冒頭に明記)。募集受付期間は、ゼミ募集期間開始から4日以内(土日・祝日を除く)。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

ゼミ室(408)の前に、面接日時(原則として応募書類を出した者のみ面接)の掲示をする。基本的に、火曜、木曜の四講目の時間帯に面接を行う。

※上記の内容の変更の場合、manaba コース「2020 年度ゼミ選考」の掲示板か、ゼミ室(408)前の掲示で周知する。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

予備知識のない人でも楽しみながら、SNS アクセス数・就職等々、成果を出すように工夫していきます。他学科も歓迎です。

# 教員名 羽村 貴史（言語センター）

---

## 1. 研究主題

英文学と文化批評を中心に学ぶことで、人種、ジェンダー、階級等の政治的な視座から、もろもろのテキストを文学的に分析し批評する訓練を行います。また、日米独を中心に、第二次世界大戦中の戦争犯罪や大量殺戮の悲劇的な歴史について知識と認識を深めます。表面上の物語内容や可視的な文化事象にかぎらず、テキストの深層構造をも読み解けるようになるよう、楽しみながら一所懸命に取り組んでください。哲学、文学、歴史学など人文学分野に強く関心があり、文学作品を中心に本を読むのが大好きな人を歓迎いたします。

## 2. 指導要領

3年次——英文学の研究では、短篇の詩と小説を中心に、英語原典の講読とテキスト分析を行います。また、文化批評の研究では、おもに和文論文の講読と内容吟味を行い、ポストモダンの価値観や戦略を言説的かつ理論的に学びます。初心者でも愉しく学べるテキストを厳選し、丁寧に指導しますから、かぎられた時間で最大限の成果をあげられるよう、きちんと学修してください。

4年次——主として、1945年の原爆投下をめぐる一次資料を英文で丁寧に読み、英語の講読力を向上させるとともに、原爆投下は正しかったとする米国で支配的な歴史観が構築されていった背景をたどる授業内容とする予定です。

## 3. 指導テキスト及び参考書

後日指定。

## 4. 選考の方法（面接・テスト等）

志望理由書および面接。

## 5. 面接・テスト等の日時・場所

- ・志望理由書1枚を、11月13日（金）までに電子メールで送付してください（hamura@res.otaru-uc.ac.jp）。興味関心のある分野を中心に述べてもらえたら参考になります。
- ・面接の日時と場所は、追ってメールで返信し指示します。

## 6. 注意事項・履修希望者へのメッセージ

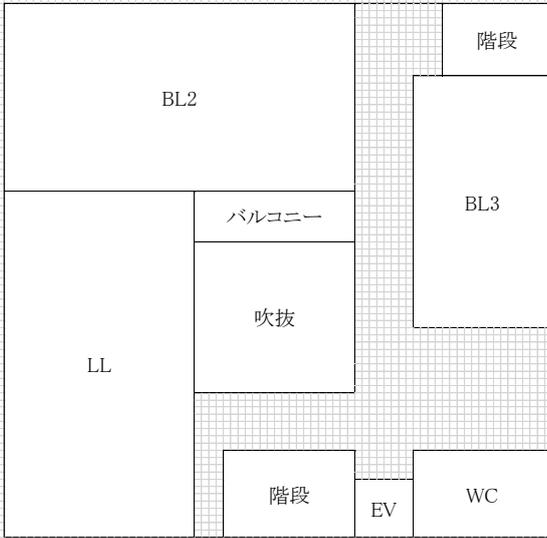
- ・当ゼミでは、4年次に卒業論文の履修と執筆を義務づけます。英文学研究のほか、表象文化論（映画、写真、絵画、漫画、音楽、スポーツ等）、日本文学研究（近現代のみ）、性文化論、民族文化論、歴史認識論、宗教学など、商学以外で羽村に理解できる範囲であれば、学術的であるかぎり何を研究主題に選んでもかまいません。
- ・前もって個別に相談・質問したい場合はメールをください。

# 2020年度 講義室・ゼミ室配置図



# 令和2年度 2号館配置図

↓5F 言語センター

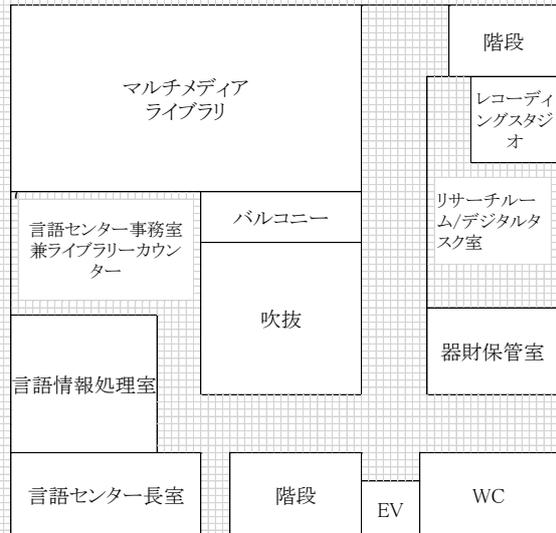


•BLはBlended learning講義室の略称です。  
 •BL1/303は3号館3階にあります。

↓3F 言語センター



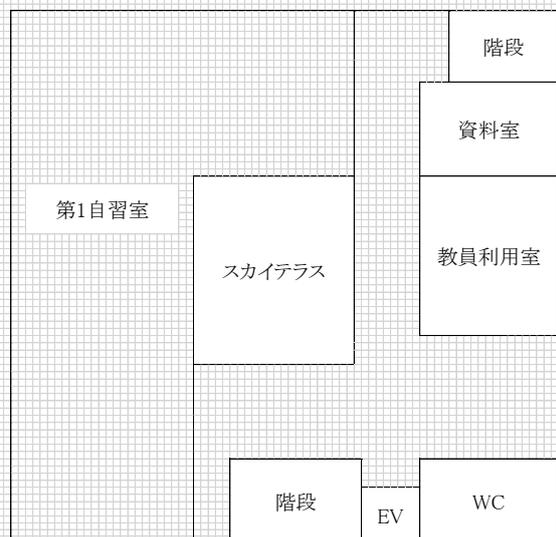
↓4F 言語センター



↓1F グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門



↓2F 情報総合センター別館





『夜間主コース ゼミナール紹介本』 2021

発行日：令和2年9月28日

編集者：教務課学部教務係

発行者：教務課学部教務係

発行所：〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号

小樽商科大学 教務課学部教務係（内線：5244）

許可なく本書の一部または全部を複製することを禁ず。